

18年度からのキャリアオーバー▲0.3%発生 物価上昇1%でも19年度年金額改定は0.1%

2019年度（平成31年度）の年金額改定について、1月18日、厚生労働省から公表されました。19年度は0.1%の改定となります。

2019年は5年に一度の年金財政検証の年であり、今後の年金のあり方について微調整（修正）が提起されます。マクロ経済スライドの「フル適用」や、基礎年金保険料支払い期間の延長（40年から45年に）などが、想定され、注視は必要です。

年金額の改定ルール

2019年度（平成31年度）の年金額の改定は、年金額改定に用いる物価変動率（1.0%）が名目手取り賃金変動率（0.6%）よりも高いため、新規裁定年金・既裁定年金ともに名目手取り賃金変動率（0.6%）が用いられます。

さらに2019年度（平成31年度）は、名目手取り賃金変動率（0.6%）にマクロ経済スライドによる2019年度（平成31年度）のスライド調整率（▲0.2%）と2018年度（平成30年度）に繰り越されたマクロ経済スライドの未調整分（▲0.3%）が乗じられることになり、改定率は0.1%となりました。

2019年度（平成31年度）の年金額改定に係る各指標

- ・物価変動率 . . . 1.0%
- ・名目手取り賃金変動率※1 . . . 0.6%
- ・マクロ経済スライドによるスライド調整率 . . . ▲0.2%
- ・前年度までのマクロ経済スライドの未調整分 . . . ▲0.3%

「マクロ経済スライド」とは、公的年金被保険者の減少と平均余命の伸びに基づいて、スライド調整率が設定され、その分を賃金と物価の変動がプラスとなる場合に改定率から控

除するものです。この仕組みは、2004年（平成16年）の年金制度改正において導入されたものです。マクロ経済スライドによる調整を計画的に実施することは、将来世代の年金の給付水準を確保することにつながります。

◆マクロ経済スライド調整率（▲0.2%）
= 公的年金被保険者数の変動率（0.1%）× 平均余命の伸び率（▲0.3%）（2015～2017年度《平成27～29年度》の平均）

「マクロ経済スライドの未調整分」とは、マクロ経済スライドによって前年度よりも年金の名目額を下げないという措置は維持した上で、調整しきれずに翌年度以降に繰り越された未調整分を指します。この仕組みは、2016年（平成28年）の年金制度改正において導入されたものです。

◆マクロ経済スライドの未調整分の累計（▲0.3%）



正面のスクリーンにパワポの図表が表示され、ポイントで要所を示しながら、みずおかさんのプレゼンが続く。昨年9月の北海道から始まり、各県を訪問しているみずおかさんの集会での一場面です。説明の内容は、13年11月5日に参議院内閣委員会で「国家戦略特区」法案の慎重審議を進めていた委員長水岡さんを自・公が多数の横暴で罷免し、後の加計学園・獣医学部キャンパス新設につなげる法案を強行する場面です。また、教職員の働き方改革への展望も話しました。

デジタルな みずおかさん

12年間、日政連議員として、首相補佐官としての経験を持つ水岡さんの「ベテランだけど瑞々しい」一場面です。政治家は国民の代表です。鋭い感覚と新しい適応力を持つ「みずおか」さんに、私たちの想いを託したいと思います。

日本
退職
教職
員協
議会

No. 382

2019.4

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F
発行責任者 竹田邦明
TEL 03(5)27752197 FAX 03(5)27752081
Email nitaikyoo@gmail.com ホームページURL http://www.nitaikyoo.com

福島原発事故から7年半 福島の実状は・・・

第3回日退教 福島学習の旅（18年11月25日～26日）

東京退教 藤崎喜仁

福島の実状

柴口正武さん（浪江中学校教諭・前福島県教組副委員長）

（1）「避難校からみた原発震災」教育実践を通して」

福島県の東半分はセシウム137が3万ベクレル以上で、半減するのに30年もかかる。

双葉地方は半径2Km圏内に避難指示、半径20Km圏内に「警戒区域」「避難区域」が設定された。この間、7市町村の避難指示は解除されたが、避難先での生活や故郷の状況を考えると、「戻る」選択をする世帯は少ない。

学校再開も、休校、間借り再開、2～3校合同で授業を再開した学校など、通学や通勤に苦労の連続だった。避難解除で住民が帰還しても、児童・生徒が戻らず学校の再開には直ぐには繋がらない。

（2）浪江町の学校は・・・

18年度は富岡町など5町村で、地元での授業再開や学校新設があった。浪江小・中学校を二本松



市に残したまま、浪江町は「浪江創成小・中学校」を開校した。浪江中は生徒数4人、創成中は生徒2人だ。2つの学

校とも、教員は教頭を含めて5人が授業を持っている。1つの学校に5人しか教科担任がいないので、学校を兼務している教員が4人もいて移動距離は50Km以上もある。また、創成中の教・英・音は、創成小の教員が授業をしている。

三春の中学校教員4人は75Kmも離れた富岡の校舎に週一通勤。また、二つの中学校に国語と数学教員の配置は一人だけで授業が組めず、テレビ会議システムで授業している。

（3）避難校での教育実践

浪江中学校では、「本来の浪江」「避難先」「学校のある地域」の三つに分けて「ふるさと浪江」を学習している。また、福島各学校は3：11を中心に「東日本大震災」に関する行事を行っている。子どもたちに福島の実状や状況をどのように受け止めさせるのか、人の弱さ強さも含めてくじけず生きていくメッセージを与え続けている。

バスでの現地視察

今回も竹中柳一さん（福島退教・元県教組委員長）の案内で飯館村へ。道の両側には無数のフレコンパットの山が積み上げられ、福島県教組から借りた線量計で測定しながら行くと、放射線量が高くなっていくのが分かる。

飯館村は17年3月に全村避難解除された。政府の対応は「住むのは構わないが危険かどうか分からない」「住みたければどうぞ自由」という程度の避難解除なので、子どもが住めないことは明らかだ。

総額50億円の費用を要した「新生飯館小学校・中学校」を外から視察する。草野小・飯桶小・白石小の三校35名で「新生飯館小学校」となる。「新生飯館中学校」は42名で開校。スクールバス、タクシーで児童生徒は登校する。村内の自宅から通学する児童は数名で、多くは村外の避難先からの通学だ。

案内人の加納さんの話

海岸から300mの請戸小学校は、当日、児童94名が体育館で卒業式の練習をしていた。14：46に地震発生、校長の「直ぐに避難」の判断で、14：56には避難開始。児童と教職員は1：5Km先の大平山（請戸城跡）を目指して逃げた。15：35に保護者対応で遅れた校長・教頭が合流。15：38に大津波が校舎を襲い、15：40に大平山に津波が到達する。16：00に全員の無事を確認し、より高い山道を歩き続ける。地震発生から僅か10分で避難出来た背景には、避難経路の確認や、直ぐに逃げることなど日常的に地域住民との繋がりがあったと語られた。維持管理にはお金もかかるが、請戸小は震災遺構として残すことになった。その現状を有りのままに見てもらい、考えてもらうことが大切と語ってくれた。

避難区域が解除されても、避難先での7年以上もの暮らしが故郷への帰還をためらわせる。立派な校舎や校庭があっても、子どもたちの歓声は小さくしか聞こえない。以前の活気や歓声が戻るには、あと何年先になるのか誰も分からない。3：11から時が止まったままの無人の学校が多く存在する一方で、飯館と浪江の新校舎に児童生徒数の急激な増加は望めない。しかし、福島教師はたった2人の生徒でも、数10Km離れた二つの学校を行き来し教育実践を続けている。福島は今を見つめ続けることも大切と思う。

差別のない 多様化した社会を！

会長 西澤 清

第68次日教組全国教研は北九州市小倉で行われました。いつものように雪こそ降りませんでしたが、冷たい風の吹きすさぶ寒い日でした。しかし、会場内は、冒頭のエキジビションから暖かい空気につつまれていました。それは、舞台の上で繰り広げられた朝鮮舞踊団と中高級学校の子どもの素晴らしい演技の為でした。教研全国集会の全体会はこれまでもその時期の抱える大きな課題への的確なメッセージを発してきました。会場の後方には「夜間中学」のパネルが掲示されています。

今日本社会と教育の抱える大きな課題は「差別を無くすこと」「多様性を認めること」です。特に大きな動きの続いている朝鮮半島の問題をどう受け止め、子ども達と共に学習を進めることは緊急な課題です。朝鮮をエキジビションで取り上げたのは、私の記憶では第40次東京大会（91年）、第53次埼玉大会（04年）でした。

情報化社会を迎え、SNSには「悪意」が飛び交っています。政府自ら朝鮮学校への授業料無償化外しという差別を公然と行っている社会です。飛び交う「悪意」の中で子ども達も大きな傷を負っています。学校では官制道徳ではなく、情報を批判的に受け止める、情報が「階級、宗教、性、人権、民族、障害」をどう扱っているか、という角度で読み解く力を付ける「情報リテラシー教育」が緊急の課題になっていきます。

舞台の上で、さらびやかに舞い唄う子ども達の笑顔を見、「赤とんぼアリアン」を聞きながら、どの国の子ども達も楽しく健やかに過ごせる社会・学校の実現をしばし夢見ました。



三・一独立運動100周年記念特別企画 —ソウルへの旅—

日退教は、2014年度から東アジア海外研修の旅を実施してきました。第1回は西安へ11名、第2回は朝鮮侵略学習に38名、第3回は731部隊や平頂山虐殺記念館、撫順の監獄へ46名、第4回は旅順・203高地などへ44名、そして昨年の第5回は蘆溝橋や南京虐殺記念館、慰安所旧跡陳列館へ50名で訪ね学習を深めてきました。

第5回で終了する予定でしたが、参加者から強い要望があり、19年度は特別企画として下記の海外研修旅行を実施します。

第2回では「ナナムの家」（元日本軍の慰安婦にされたハルモニたちが生活している家）が工事中のため訪問できなかったこと、昨年の南北首脳会談で一躍脚光を浴びた板門店（軍事境界線）、そして日本の植民地支配に対する1919年3月1日の独立闘争から100年目という状況を踏まえての実施です。遠隔地の人は、夜行バスが便利です。

グループの分け方

A：第2回（2015年）に不参加の人は、明成皇后の法要に参加してください。

B：第2回に参加した人を対象とします。

募集定員 40名

費用 11～12万円（使用空港、グループで若干異なります）

申し込み ①返信用封筒（A4三つ折りの入る封筒に82円切手添付）を入れて、下記に資料を請求して下さい。

正式な申込用紙・詳しい日程・見学場所の概要を送ります。

②申込用紙に必要な事項を記入のうえ、パスポートコピーと一緒に申し込んでください。（正式に申し込んだ人には詳細な金額をお知らせします）

締め切り：6月15日必着

〒101-0003 千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F 日退教事務局 松淵 昂 宛

10月7日（月）	羽田9：45発、関空11：10発 タブコル公園と仁寺洞（自由行動）	3・1独立運動発祥の地
10月8日（火）	Aグループ：明成皇后忌辰祭、西大門刑務所（独立運動家らが獄死） Bグループ：板門店、帰らざる橋	日本人48名が朝鮮王朝の皇后を殺害してから124年目の法要 38度線、平和の家、本会議室など
10月9日（水）	ナナムの家 羽田18：35着、関空19：30着	日本軍「慰安婦」歴史館

日退教

2019年度の主な日程

中央メーデー	4月27日(土)
憲法集会	5月3日(金)
監査・第1回役員会	6月6日(木)
日退教総会	6月7日(金)
退職者連合総会	7月12日(金)
地公退総会	7月26日(金)
地公退高齢者集会	9月16日(月・休日)
退連高齢者集会	9月17日(火)
五者学習会	10月10日(木)
組織活動交流集会	10月11日(金)

「生きがい支援協会」 2019年度の主な事業

第11回シニア・ピア・カウンセラー養成セミナー
① 7月4～5日 ② 7月25～26日
東京ガーデンパレス(文京区湯島)

第41回生きがい支援アドバイザー養成セミナー
9月5～6日 アルカディア市ヶ谷(九段)

第2回地域ボランティア全国交流会
9月26～27日 アルカディア市ヶ谷(九段)

第8回絵手紙講習会
11月8日 沖縄県・八汐荘

第12回退職教職員全国囲碁大会
11月14～15日 日本棋院

第13回講演会
11月22日 岩手教育会館(盛岡市)

その他にも、支援事業や法律相談、「悠悠ライフ」
発行など
詳細は☎03-5919-2391、F ax03-5919-2392、HPを

◆編集後記◆

小春日和の一日、「高校内カフェ」の見学をするため横浜市立横浜総合高校に行った。

「高校内居場所カフェ」―耳慣れない言葉かもしれないが、大阪から始まって、今神奈川県では九つの高校に存在している。家庭や従来
の学校にも安心できる場所を持たない子どもたちの居場所として注目を浴びている。

昇降口だった場所をホールにしたところが週一回カフェになる。ソ
フトドリンクの他、一人一個お菓子が選べるし、リゾットやパスタス
プなどの軽食もある。私も紙コップに入ったパスタスープを味見させ
てもらったが、すぐ後ろの鍋で作っているので、温かいし何より手作
りの味がする。

20個ぐらいあるテーブルはほとんど満席で、グループで語っている
子たちもいれば、カウンター席で一人でスマホを見ている生徒もいる。
運営母体は学校によって異なるが、横浜総合では「ミネット」が運
営。水曜だけ開かれている。手伝いの大学生には最低賃金分の時給を
渡すが、社会人には交通費だけ。三角巾・エプロン姿で私にスープを
よそってくれた年配の女性は元小学校の校長だという。

カフェ担当という女性教員曰く「カフェ設置後中途退率が減ってきて
いることは事実だ、またカフェがある水曜は登校生徒が多い」
手伝いの大学生曰く「ここに通って2年目になるが、昨年なにも言
わなかった子が今年になってぼつりぼつり悩みを語ってくれて嬉し
かった」

県や国からの支援、PTAからの助成を受けても運営は厳しいが、
存続への要望は高い。こういうカフェが他の学校にもっと広まればと
思う反面、エネルギーに溢れているはずの高校生が家庭にも学校にも
居場所がないという現実が切なくなる……。

(R)